

## ロボット支援腹腔鏡下膀胱全摘除術の保険診療について

腎臓外科・泌尿器科 秦聡孝、三股浩光

本年より当院で、膀胱（ぼうこう）がんに対するロボット支援腹腔鏡（ふくくうきょう）下膀胱全摘除術を保険診療として実施することが可能になりました。

膀胱がんのうち、筋肉の層まで深くがん細胞が入り込んでいたり、広い範囲にがんが存在する場合などが、膀胱をすべて取り除く膀胱全摘除術の適応となります。以前はすべての患者さんに腹部に大きな切開を加える開腹手術として行っていましたが、傷の痛みが強く、出血量も多くなる傾向にありました。

そこで、近年当科では、患者さんの負担を減らす目的で、腹腔鏡下手術やロボット支援手術に積極的に取り組んでいます。

全国に先駆けて開始した腹腔鏡下膀胱全摘除術は2012年に保険適応となっており、腹部に小さな穴を4-5か所ほど開けて膀胱を遊離することが可能で、出血量も少なく、良好な手術成績を得ています。しかし、30-40cmの長い手術器具を腹部の穴から体内に入れて、人の手で直接操作するため、手技的な難易度はやや高いとされています。

当院では手術支援ロボット・ダヴィンチを2012年に導入し、これまでに当科で前立腺（ぜんりつせん）がん330例以上、小径腎（じん）がん30例以上の手術実績があります。2018年4月によりやく膀胱がんに対するロボット支援腹腔鏡下膀胱全摘除術が保険収載され、当院でも実施基準をクリアしたため、対象となる患者さんであれば、通常の保険診療としてお受けいただくことができます。鮮明な3次元画像の拡大視野のもと、術者の動きをロボットアームの関節を用い

て忠実に反映できるため、きわめて正確で精密な手術操作が可能となり、出血量のさらなる軽減など、患者さんにとって、より優しい術式となることが期待されます。

なお、実際の手術方法の選択は、患者さんの病状や併せ持つほかの病気、過去の手術歴などによって異なりますので、主治医とよくご相談いただき、もっとも安全で個々に適した方法をお選びいただくことが大切です。



# 平成30年度の患者満足度調査結果について

サービス・国際化推進委員会委員長 波多野 豊

当院では、患者さんの満足度やご意見を把握するために、昨年11月に外来と入院の患者さんを対象に、「患者満足度調査」を実施いたしました。調査にご協力いただきました患者さんの皆さま並びにご家族の皆さまには厚くお礼申し上げます。以下に、調査結果の概要をご報告いたします。

今回の調査で皆さまからいただいた貴重なご意見を全職員で共有し、今後も引き続き患者サービスの質の向上に努めてまいります。

## 外来

### ■総合評価点

有効回答者数：578人

「総合的に当院を100点満点で評価すると、何点ぐらいになりますか」

平均評価点：81.2点

前回調査との差：+1.8点

### ■受診満足度

有効回答者数：590人

「当院を受診してよかったですか」

■良かった ■まあ良かった ■あまり良くなかった ■良くなかった

当院（前回）	69.1	27.4	0.7
当院（今回）	68.8	28.3	0.3

### ■個別項目の満足度

■非常に満足 ■満足 ■どちらともいえない ■やや不満 ■不満



## 入院

### ■総合評価点

有効回答者数：263人

「総合的に当院を100点満点で評価すると、  
何点ぐらいになりますか」

平均評価点：89.6点

前回調査との差：-0.2点

### ■入院満足度

有効回答者数：272人

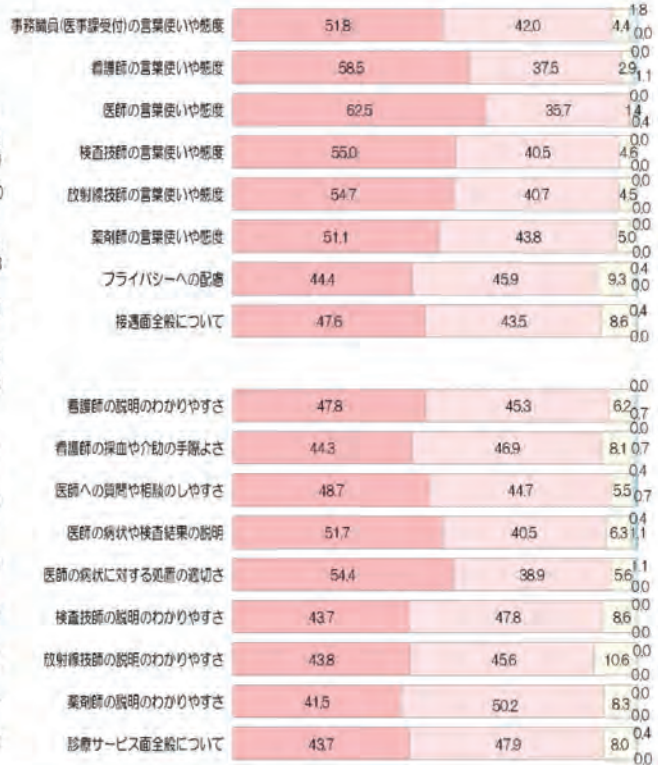
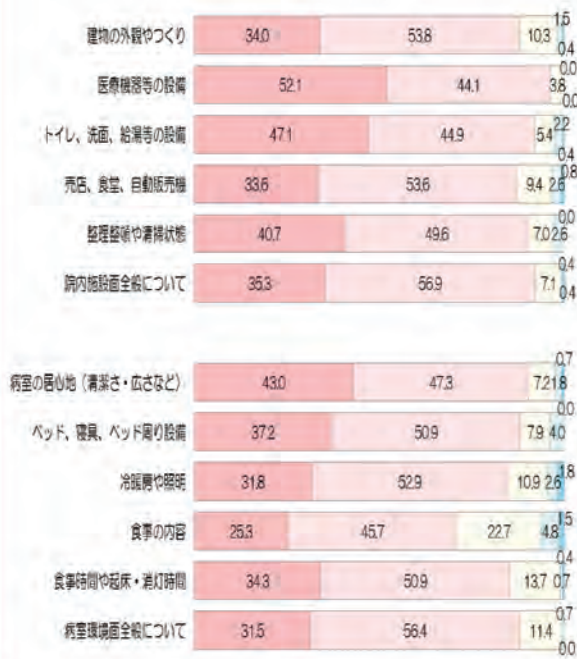
「当院に入院されてよかったですか」

■良かった ■まあ良かった □あまり良くなかった □良くなかった

当院（前回）	85.0	14.6	0.0
当院（今回）	87.9	11.4	0.0

### ■個別項目の満足度

非常に満足 満足 どちらともいえない やや不満 不満



## 平成30年度 接遇研修について

### 2月5日(火)に医学部附属病院内で接遇研修が行われました

今回は、講師に医療タイムス社嘱託講師の浅羽 恵氏をお迎えし、「『患者対応事例で振り返る接遇の問題点と改善』～社会人としての“礼儀”と医療人としての“配慮”～part2」をテーマに行われました。

医師、看護師、薬剤師、検査技師、放射線技師、事務職員等200名以上の職員が参加しました。

具体事例やロールプレイを通して、日常の「意識」と「言動」を振り返る研修となり、職員からは「言葉の大切さ、意識の大切さを改めて考えさせられました。」「学んだことを明日から実践していきたいです。」といった声が寄せられました。



(文責 医事課)

## 世界緑内障週間における疾患啓発活動「ライトアップinグリーン」運動

眼科 久保田敏昭

緑内障学会では緑内障の啓発活動のために、世界緑内障週間に合わせたライトアップinグリーン運動を行っています。今年は3月10日(日)～16日(土)が世界緑内障週間でした。ライトアップに参加する施設も徐々に増え、2019年は108カ所の施設がグリーンにライトアップされました。大分ではJR大分シティも昨年同様ライトアップに参加していただき、他にはセントポルタ中央町でライトアップを、ガレリア竹町でPRスライド放映をしていただきました。

超高齢社会の日本では、加齢とともに白内障、緑内障、加齢黄斑変性症など様々な目の疾患に罹る方が増えています。中でも、40歳以上の5%が罹患しているとされる緑内障は、日本人の失明原因疾患の第1位となっています。その一方で、近年の緑内障の診断技術や治療法の進歩により、早期に発見し治療を継続すれば緑内障により失明に至る可能性は大幅に減ってきています。しかしながら、緑内障は初期の自覚症状が極めて少ないため、気づいた時には進行していたという場合もまだまだ多くみられます。従って、緑内障による失明を減らすためには、緑内障について知っていただくことがきわめて重要です。

「世界緑内障週間」は、2008年から世界緑内障連盟(World Glaucoma Association)と世界緑内障患者連盟(World Glaucoma Patients Association)が主体となって世界一斉に行われている緑内障啓発のための国際的なイベントです。この期間、世界中で様々なイベントや啓発運動が同時に行われています。

大分県内ではポスターを県内の病院、眼科医院、大分市保健センター、文化会館、公民館、銀行、薬局、中央町商店街などで掲示をしていただきました。また大分市、大分県、大分大学眼科のHP、大分大学医学部・医学研究科のHP、Facebookに掲載され、さらに大分合同新聞に記事を書いてもらい広報を行いました。40歳を過ぎたらぜひ定期的に眼科受診をお願いします。

World Glaucoma Week **世界緑内障週間** World Glaucoma Week

2019年3月10日(日)-16日(土)

★ ライトアップinグリーン運動 ★

緑内障は早期発見と治療の継続が大切です

40歳を過ぎたら眼の定期検診を!

主 催：日本緑内障学会 ライトアップinグリーン実行委員会  
後 援：公益財団法人日本眼科学会、公益社団法人日本眼科医会  
協力団体及び企業：(株)アサヒシーアンドアイ、アルコンファーマ(株)、アールイーメディカル(株)、エイエムオー・ジャパン(株)、(株)エムイーテックニカ、大塚製薬(株)、カールツァイスメディック(株)、(株)リユートメディカルシステムズ、グロウコス・ジャパン合同会社、興和産業(株)、伊天製薬(株)、(株)シード、ジャバファースト(株)、(株)サニールシステム、千寿製薬(株)、全日本空輸(株)、(株)東急エージェンシー、(株)トーマスコピー・システムズ、(株)トプコンメディカルジャパン、(株)ニコンヘルスケアジャパン、(株)ニデック、日東メディック(株)、日本アルコン(株)、(株)日本歯周病研究会、(株)ほんだや、(株)ビーライン、(株)リウムメディカル、(一社)緑内障フレンドネットワーク、わかもと製薬(株) ※以上アイエオ順

連絡先：日本緑内障学会 ライトアップinグリーン実行委員会事務局 E-mail: jgs.wgwg@gmail.com

## 周産母子センター GCU(新生児回復治療室)開設のお知らせ

周産母子センター 橋原久司(産科婦人科),井原健二・関口和人(小児科)

本年4月に周産母子センターはGCU(新生児回復治療室)を開設いたします。これまでNICU(新生児集中治療室)6床と新生児一般病床3床で新生児の集中治療とケアを行ってきましたが、この度、看護師スタッフと集中管理モニターシステムを重点整備し、NICU6床+GCU6床として運用いたします。この再整備により、母と児に病気が起こる可能性の高い妊婦さん(ハイリスク妊娠母体)を産科病棟に多く受け入れることが可能となり、さらに出生後間もなくから医療的ケアが必要な赤ちゃんには速やかに集中治療を受けて頂くことができます。さらにドクターヘリを用いた県内遠隔地からの新生児搬送システムも整備されましたので、医療的ケアを必要とする遠隔地で生まれた赤ちゃんの緊急の受け入れもさらにスムーズになります。周産母子センタースタッフ一同、GCU開設を機に、より安全で安心な新生児医療に取り組んで参ります。



## 病院ホームページが新しくなりました!



新ホームページ

平成31年2月末に当院ホームページをリニューアルしました。

新しいホームページはスマートフォンからの閲覧にも対応しており、大分大学医学部附属病院がどのような病院なのかよりイメージしやすいよう写真をたくさん使用しております。

当院の概要や受診のことなど様々な情報を掲載しておりますので、是非ご覧ください。

ホームページURL

<http://www.med.oita-u.ac.jp/hospital/index.html>



旧ホームページ

スマートフォン  
対応

過去のかげはしも  
ホームページ上で  
チェックできます



## 初診完全予約制が始まります

平成31年 **3月1日**～ 神経内科

平成31年 **4月1日**～ 歯科口腔外科



初診完全予約制の診療科はかかりつけ医等の医療機関から予約及び紹介状が必要です。

### 【初診完全予約制の診療科】

耳鼻咽喉科・頭頸部外科

小児科（専門分野を選んでご連絡いただきます）

腎臓外科・泌尿器科

**NEW** 神経内科（平成31年3月1日～）

産科婦人科（不妊患者・妊娠患者は対象外）

**NEW** 歯科口腔外科（平成31年4月1日～）

眼科

### 総合患者支援センター受付

（受付時間 平日 8：30～17：00）

### 【紹介状必須の診療科】

皮膚科（形成外科を除く）

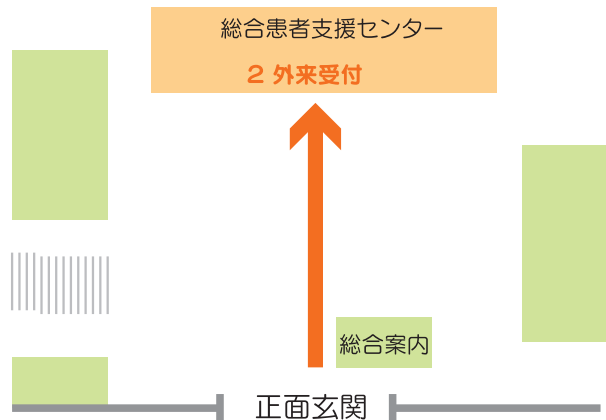
電話：097-586-6360,6531,6530  
FAX：097-586-6358

## 予約日当日について

予約日当日は午前8：00～10：30の間に総合患者支援センター「2 外来受付」までお越しください。（※各診療科へのご案内は8：30～となります）

当日お持ちいただくもの

- ①FAX診療受付票
- ②保険証
- ③各受給者証等
- ④紹介状（診療情報提供書）
- ⑤本人診察券（お持ちの場合）



## 大分大学医学部附属病院

〒879-5593 由布市挾間町医大ヶ丘1丁目1番地 TEL 097-549-4411 (代)

大分大学医学部附属病院ホームページ <http://www.med.oita-u.ac.jp/hospital/index.html>

これまでの「かけはし」は、医学部附属病院ホームページからご覧いただけます。

